

JSP、2年目に向けた内部統制業務の標準化に「Tosei Vision」を採用 ～3点セットを使った試使用で大幅な省力化を実感～

株式会社アシスト（本社：東京都千代田区、代表取締役：ビル・トッテン、略記：アシスト）が日本で独占販売権を持つ内部統制の整備・運用評価支援パッケージ「Tosei Vision」（開発元：韓国 UNITECH INFOCOM 社、韓国での製品名：eXPM-Crystal）が、株式会社 JSP（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井上六郎）で採用されました。

JSP は独自の発泡技術、加工技術を駆使して、石油化学製品を原料とした食品包装容器や、家電／精密機器等に利用される緩衝包装用梱包資材、自動車、住宅等の部材、道路の軟弱地盤の補強材等、多様な製品群によって幅広い産業活動や人々の生活シーンをサポートしています。これらの発泡製品は、軽量性、断熱性、緩衝性、耐衝撃性、防水性等、様々な特性を有しており、また優れた省資源性は CO2 の排出抑制にも貢献しています。国内はもとより、北米、ヨーロッパ、アジアの 9 ヶ国 15 工場の生産拠点から積極的に海外展開を図り、ワールドワイド・サプライヤーとしての信頼を獲得しています。

内部統制対応 1 年目は手作業で評価を行った JSP は、工数の大幅な省力化と標準化を狙い 2 年目に向けて「Tosei Vision」を選択しました。JSP の事業所は、本社 6 営業所、11 工場、2 研究所、子会社は国内 12 社、海外 21 社から成り、内部統制部（統制推進室、監査室）のメンバー 7 名が内部統制評価を担当しています。当然、7 名で、すべての拠点、子会社の内部統制の評価を行うことはできないため、同社では、各業務プロセスに責任者（プロセス・オーナー）を定め、内部統制の整備、運用、テスト、改善の一連の流れをプロセス・オーナーが主体となって自主検査する方式を採用しています。その結果を踏まえて、監査室が評価（監査）を行い、独立性と客観性を補完しています。このプロセス・オーナー制は、責任の所在が明確であるため、業務プロセスの設計の際に、適切な内部統制を組み込みやすいというメリットがあります。一方、プロセス・オーナー間で共通の意識合わせができていないと、現場によって結果にばらつきが生じたり、取りまとめを行う事務局（統制推進室）の負荷が増大することになります。実際、1 年目の評価を終えた JSP では、評価結果を取りまとめる事務局の負荷が大きいことを痛感していました。

当初、JSP では、自社の規模ならツールなしでもやっていけると考え、1 年目は手作業中心で乗り切ってきました。しかし、内部統制は継続して実施していかなければならないこと、手作業では標準化が進まないことを懸念し、評価支援ツールの検討を開始。ツールの導入により、どれだけ費用対効果が達成できるかを確認する必要があった同社では、前年度に使用した、内部統制文書のいわゆる 3 点セット（「業務記述書」「リスク・コントロール・マトリックス（RCM）」「業務フロー図」）や関係資料を Tosei Vision に登録し、試使用を行いました。その結果、前年度、手作業で行った評価作業を大幅に省力化することが可能であり、評価のプロセスを標準化できることを実感し、費用対効果も十分に見込めることが確認できたことから、Tosei Vision を導入することに決定しました。

JSP が、数ある内部統制評価支援ツールの中から Tosei Vision を選択した理由は以下の通りです。

1. 評価結果を取りまとめる事務局の工数が大幅に削減できる
2. 評価作業の中心となるプロセス・オーナーに負荷をかけずに、上質な評価を可能にする
3. 顧客ニーズに合わせるために、カスタマイズするのではなく、製品の機能で対応できる
4. 1 年目に作成した文書（Excel）をそのまま利用できる
5. 日本より 3 年早く内部統制対応が開始した韓国で 500 社の導入実績があり、そのノウハウが凝縮されたツールであることから、自社の内部統制構築の指針とすることができる

JSP では、内部統制対応は毎年繰り返し実施しなければならないことから、Tosei Vision を使えば必然的に省力化や標準化が実現することを高く評価しました。また、ツールに込められた他社のノウハウを自社の経験として、内部統制ルールの維持、徹底が実現できると、大きな期待を寄せています。

■「Tosei Vision」の主な機能概要、稼働環境、販売価格など

機能概要	<ul style="list-style-type: none"> ■評価業務の一元管理 <ul style="list-style-type: none"> ・全社的の内部統制、IT 全般統制、決算財務プロセス統制、業務プロセス統制に標準で対応 ・Excel、iGrafx など、どのような文書化ツールで作成された文書も柔軟に取り込めるインポート機能 ・評価に必要な文書類を評価計画に結び付けて集中管理 ■評価プロセスの効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・内部統制管理者、内部監査人、テスト担当者、業務改善担当者、承認者、財務報告の責任者、代表取締役など、様々な役割の方々の連携を支援するワークフロー機能 ・役割ごとに必要な情報だけを表示 (MY PAGE) ・評価プロセスの進捗管理と開始/終了案内、督促機能 ・評価文例、督促メール文例など、よく使われる文例を登録でき、利用者の入力負荷を大幅に軽減、かつ標準化を推進 ■評価結果の管理、分析 <ul style="list-style-type: none"> ・統制活動を可視化し、進捗状況をモニタリング ・評価結果を自動集計し、プロセス別、勘定科目別、組織別に分析、レポートニング ・評価結果は Excel にエクスポートできるので、監査法人などへの提出資料も自由に作成可能
稼働環境	Windows Server 2008 (32bit 版) Tomcat Microsoft SQL Server 2005/2008、Oracle9i Database 以上
販売価格	基本ライセンス:525 万円(税込)から プロダクト・サポート料:ライセンス価格の 20%

サマリー
業務整備
業務運用

印刷
閉じる

業務運用に対する内部統制の不備の内容と改善事項

内部統制の不備の内容及び改善案は次の通りです。

1. 稟議書の承認(決済)が実施されていないものがあった

1) 統制活動 テスト照会

不備の評価(個別) (内部統制の不備)
不備の評価(総合) (内部統制の不備) h0402r1c1_評価算定シート.xls

プロセス	販売・売上管理・販売手数料・販売奨励金支払手続
リスク	承認されない販売手数料・販売奨励金が支払われる。
統制活動	販売手数料、販売奨励金の支払確定時に職務権限規程に基づく稟議決裁を受ける。
	販売手数料、販売奨励金の支払確定時に職務権限規程に基づく稟議決裁を受ける。

2) テスト及び検出事項

テスト日付	2010/01/31	テスト担当者	藤田主任
検出事項	添付ファイルに示すように、稟議書の承認(決済)が実施されていないものが2件あった。		

3) 改善案

改善案作成日付	2010/01/31	業務担当者	早川G長	担当部署	折材グループ
改善案	販売手数料・販売奨励金の支払手続きにおいて、稟議書の承認印の確認徹底を指導する。				
処理内訳	期末検査まで改善を完了する。			改善内容	テスト期間中に改善未完了
				改善完了予定日	2010/03/12

Tosei Vision で作成される「業務プロセス運用テストの不備の内容と改善事項」のレポート(例)

■株式会社アシストについて

代表取締役:ビル・トッテン

設立:1972年3月

社員数:800名(2010年4月1日現在)

本社:東京都千代田区九段北4-2-1

URL: <http://www.ashisuto.co.jp/>

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。日本国内での独占販売権を取得している「Tosei Vision」をはじめとする内部統制対応製品や、多種多様なビジネス分野向けソフトウェアの販売および教育／サポート・サービス提供のほか、顧客の課題を切り口としたコンサルティング・サービスを提供しています。顧客の「企業力強化」をテーマに活動を行い、コスト削減、セキュリティ強化、情報活用など、お客様の経営課題を満たす総合提案を行っています。

■株式会社 JSP について

代表取締役社長:井上六郎

設立:1962年1月

社員数:664名(JSPグループ社員数:2,053名)

本社:東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビル

URL: <http://www.co-jsp.co.jp/>

JSPは、発泡プラスチックの総合メーカーです。プラスチック樹脂を発泡させることで軽量性、緩衝性、遮音性など多くの特性が生まれ、自動車部品、食品容器、建築土木用資材など、各種産業用包装材や緩衝材として、幅広い分野に提供しています。さらに、世界規模での事業展開により世界市場へのサプライヤーとしての機能を発揮し、業界のリーディング・カンパニーの地位を確立しています。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部

担当:根井、田口

TEL :03-5276-5850

FAX :03-5276-5895

E-Mail: press@ashisuto.co.jp

■「Tosei Vision」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト システム基盤ソフトウェア事業部 担当:古井、舘

TEL: 03-5276-5565 FAX: 03-5276-5878

E-Mail: tv_sal@ashisuto.co.jp

詳細 URL: <http://www.ashisuto.co.jp/prod/toseivision/>

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。